

千葉県野球協会特別規則

この規則は、別に定める規則を除き、千葉県野球協会（以下「本協会」という。）が主催する大会の全ての試合に適用する。

1. 監督または主将（少年・学童は監督と主将。）は、第一試合を除き前試合4回終了後、直ちに大会本部が用意するオーダー表を提出してください。
2. オーダー表の記入方法 登録された者の全員を記入する。なお、参加選手が9名以上いることの確認のため、当日不参加者選手の氏名左に<レ>を付記する。
3. 背番号（学童）学童大会の出場チームは必ず背番号（0番から27番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番、28番）を付けること。
4. ベンチに入れる人員（少年・学童）
登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手9名以上20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー各1名とする。ただし、監督、コーチは成人でなければならない。
なお、学童については介護員2名以内を認める。
5. 正式試合 **正式試合になる回数は、5回とする。（学童は、時間を優先する。）**
6. 得点差によるコールドゲームの適用
 - ① 9回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。〈二段階制〉
 - ② 7回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
 - ③ **6回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。**
7. 投手の投球制限（学童）少年（中学）
少年 1日の投球数は100球以内とする。試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
学童について、1日の投球数は70球とする。なお、四年生以下の投手の投球数は、1日60球とする。試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
8. 試合時間
 - ① 一般、9回戦の場合、時間に関係なく9回まで行う。但し、9回を終了し同点の場合は、「9. 延長戦」の規定による。
7回戦の場合、2時間30分としこれを越えた場合新しいイニングに入らない。
 - ② 少年、2時間00分としこれを越えた場合新しいイニングに入らない。
 - ③ **学童、6回戦とし、1時間30分を越えた場合新しいイニングに入らない。**
9. 延長戦
 - ① 天皇賜杯、国民体育大会の場合12回までとする。ただし、3時間00分を経過した場合は、新しい延長イニングに入らず直ちに特別延長戦とする。
 - ② 天皇賜杯、国民体育大会以外の場合、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。
10. 1日2試合（ダブルヘッダー）を行う場合のベンチ
大会日第二試合目の勝者は、ベンチの変更は行わず、第三試合目のベンチとする。
なお、大会実施要項の規定を適用しない場合もある。